



平成28年度 インターンシップの実施について

研修部



1. はじめに

情報通信エンジニアリング協会では、学生の就業体験の機会を提供するインターンシップを毎年実施しており、今年度も8月下旬～9月上旬にかけて実施しましたので、その実施模様を紹介します。

また、協会インターンシップに参加し、会員会社に入社した方に「仕事に就いて、インターンシップを振り返る」をテーマに取材を行いましたので紹介します。

2. 開催日程・場所

平成28年8月22日（月）～9月2日（金）

1週目 [実習・施設見学等]

- ・ITEA東日本研修センター（埼玉県さいたま市）
- ・ITEA西日本研修センター（大阪府吹田市）

2週目 [業務体験]

実施会員会社

[関東エリア]

株式会社エクシオテック、株式会社協和エクシオ
日本コムシス株式会社、株式会社ミライト
株式会社ミライト・テクノロジーズ

[関西エリア]

株式会社協和エクシオ、日本コムシス株式会社
株式会社ミライト、日本電通株式会社
株式会社ミライト・テクノロジーズ

3. 参加学校数・学生数

今年度の参加状況は以下の通りです。

- 関東エリア 10学校29人（新規校3校4人、再掲）
- 関西エリア 6学校15人
- 合計：16校44人

4. 実施模様

(1) ITEA東日本研修センター実施分

1週目は、ITEAならではの実施テーマ（各社で実施できることは各社で！）で、以下の内容を実施しました。

基調講演、座学、光開通工事及びメタル開通工事の実習、安全実習、NTT技術史料館・NTT東日本常盤ビル等の施設見学、グループワーク、学生（29人）・学校関係者（6人）・会員会社（9人）・ITEA職員（17人）による学生成果報告・意見交換会を実施しました。

実施模様の一部を写真で紹介しします（写真1～7）。



写真1 基調講演



写真2 光開通工事実習



写真3 安全実習



写真4 NTT東日本常盤ビルの通信設備見学



写真5 NTT技術史料館見学



写真6 グループワーク



写真7 意見交換会：グループワーク結果発表、会場風景



(2) ITEA西日本研修センター実施分

講話、座学、光芯線接続、PCセットアップ、NTT西日本大阪中央ビルの施設見学等を実施しました。この一週間の経験が、翌週に実施する会員会社での職場体験に役立つ内容としています。

また、2週目の最終日に学生・会員会社・ITEA職員による成果発表会及び意見交換を実施して、研修生への今後の就職活動に向けたアドバイスや激励を行いました。実施模様の一部を写真で紹介しします（写真8～11）。



写真8 講話



写真9 光芯線接続



写真10 PCセットアップ



写真11 成果発表会

(3) 会員会社実施分

各社実施状況の一部を写真で紹介します。

[関東エリア]



鉄塔（携帯電話基地局）昇降前説明及び昇降体験
(株式会社 協和エクシオ)



スマートメーター工事概要説明
(株式会社 エクシオテック)



LANコネクタ作成実習
(株式会社 エクシオテック)



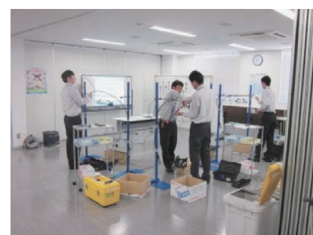
LTE無線基地局アンテナ設置工事見学
(日本コムシス 株式会社)



クロージャ交換工事見学
(日本コムシス 株式会社)



光開通工事見学
(株式会社 ミライト)



光クロージャ組立実習
(株式会社 ミライト・テクノロジーズ)



管路埋設工事現場見学
(株式会社 ミライト・テクノロジーズ)

[関西エリア]



LTE無線基地局アンテナ設置工事
見学における安全対策の実体験
(株式会社協和エクシオ)



マンホール入孔体験
(株式会社協和エクシオ)



高所作業車の実体験
(日本コムシス株式会社)



電柱建替作業見学
(日本コムシス株式会社)



LTE無線基地局設備見学
(株式会社ミライト)



LTE無線基地局設備見学
(株式会社ミライト)



アンテナ基地局現地調査現場見学
(日本電通株式会社)



アクセス系工事業務実習
(日本電通株式会社)



土木工事（管路埋設）現場見学
(株式会社 ミライト・テクノロジーズ)

建柱工事現場見学
(株式会社 ミライト・テクノロジーズ)

5. 協会インターンシップ参加し入社した方の取材

「仕事に就いてインターンシップを振り返る」をテーマに取材を行いましたので以下に紹介します。

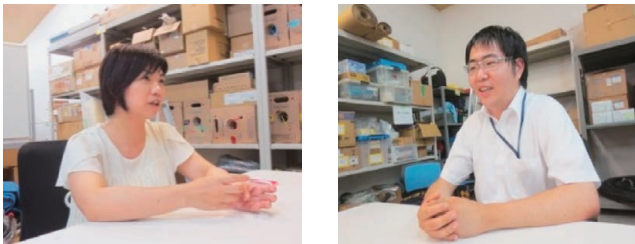
(1) 取材先

- ・株式会社ミライト・テクノロジーズ
ソリューション事業本部
第一エンジニアリング部
- ・吉田 一貴 さん

(聞き手)

ITEA東日本研修センター
アクセス部門 本井傳 伸栄

(2) 「仕事に就いてインターンシップを振り返る」



【本井傳】今日はインターンシップに参加した後に、株式会社ミライト・テクノロジーズに入社された吉田さんに、インターンシップでの印象、進路決めに役立ったことなどを振り返っていただきます。

はじめに吉田さんは当時どんな学生生活を送っていましたか。

【吉田】私が通っていた大学は2年間をひと区切りとしており、他大学より取得単位数が多かったので、普段は授業と実習に追われ自由時間の少ない日々でした。

週末はホームセンターでアルバイトもしていて、3年生ごろには学生同士でインターンシップや就活についての情報交換もするようになりました。

プライベートでは小中高と柔道、野球を続けてきたのですが大学時代は活動はせずもっぱら観戦することと、たまに友達と飲みに行き朝までカラオケをすることでリフレッシュしていました。

【本井傳】ずいぶん充実した日々を送られていたようですね。その後社会人になってからはいかがですか。仕事の近況も合わせてお聞かせください。

【吉田】1年目の新入社員研修、CCNA取得を経て、秋からソリューション事業本部に配属となり3年目を迎えています。法人系のお客様向けにサーバ・ルータの設置、機器間ケーブル配線など主に物理層の設計・施工・試験をしています。1つひとつのプロジェクトを完遂して出来上がった設備を見ると、「これは自分が構築したのだ」とやりがいを覚える日々です。

活動エリアは新木場の事業所を拠点として、首都圏中



心に仙台、静岡辺りまで出向くこともあります。

お客様は時間に厳しいのでとにかく早出を心掛けています。

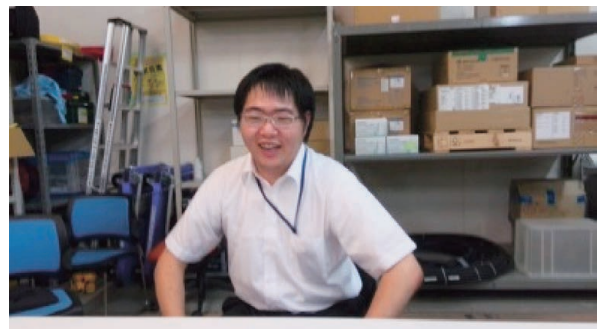
今では現場代理人として2～3のプロジェクトを持ち、施工計画の策定・管理、着工前打ち合せ、各種調整など幅広く実施するようになりました。一方でさらに多くのプロジェクトを同時進行させる先輩方を見ていると、先々を見据えた動きに磨きをかける必要を感じます。

【本井傳】社会人生活においてもやりがいと新たな目標を持って取り組まれている様子がよく分かりました。そんな通信建設業界に入られた吉田さんですが、当時インターンシップを受けられた動機はどのようなものでしたか。

【吉田】大学時代は将来は好きなモノ作り方面に進みたいと漠然と考えていました。2年生の時クラス全員にインターンシップ参加の機会がありました。

行き先を調べていると通信建設業界のインターンシップは内容が具体的に記述されていて、モノ作りの匂いを感じたのと体験内容がイメージできたので決めました。他社は紹介リストに内容が1～2行程度のものが多く不安だったことを覚えています。

【本井傳】インターンシップ参加前後で通信建設業界、会社の見え方に変化はあったでしょうか。



【吉田】大学前半はプログラムや電子回路作りが大半で通信関係の工事そのものへの関心はあまりありませんでした。

ところがインターンシップにて光ファイバの接続実習や通信設備見学、通信建設会社での具体的な業務説明や現場事務所での多くの仕事を体験し、それがきっかけとなって通信建設会社を調べるようになり、電柱やケーブ

ルを意識するようになりました。家の引き込みも確認したほどです。

【本井傳】 インターンシップ参加でずいぶんこの業界に関心をもたれたようですが、印象に残っていること、エピソードなどをお聞かせください。

【吉田】 NTT常盤ビルのとう道に入った時のことですが、トンネルが長く太く、ケーブルが幾重にも収まってまるで通信設備の地下街のようでした。夏でも涼しく、頭上を走る車の音の不気味な響きなどが強く印象に残っています。また、光ファイバの融着接続、光コネクタ作り、そしてみんなが作ったものを接続して光が通った時の喜び、これが日本中をつないでいるのかと思って感動しました。

カリキュラムも座学と実習の編成が適切で、実習したものが実際にどのように使われているかの説明もあって理解を深めることができました。初歩的な質問もできたので、それまで解らなかったルータの設定方法がここで理解することができて今でも感謝しています。

現場事務所では指差呼称、始業前点検から始まり、工事現場では作業員が高所で安全を確認しながら整然と光ファイバを接続、ドロップを引き留めるなどして家々に光回線を開通させていく姿にプロを感じました。

インターンシップの2週間は学校の授業とは全く違う新鮮な体験ができました。



【本井傳】 その後の進路決め、就職活動にどのような影響があったでしょうか。

【吉田】 当時は就職難の時代でしたので、通信建設会社のみならずNTT-NEC、電気系会社など幅広く応募しました。一般に会社説明会では会社の大きさ、事業の概要、それに入社前の準備、取るべき資格などを説明されるのですが話だけではよく分からないことも多かったのですが、インターンシップを体験していると説明内容も理解でき、社会人としての自分の姿をイメージできたので結局この業界に行こうと考えました。それからはアクセス分野希望を念頭に就職活動を本格化しました。

【本井傳】 ズバリ！就職先決定に役立ったでしょうか。

【吉田】 今振り返ればインターンシップで仕事と人の

出合いのきっかけを作ることができたと感じます。

ミライト・テクノロジーズ社に決めたのはインターンシップの時に世話になった方が会社説明会の時に覚えていてくれたことが大きかったです。それに学生の時にしかできないアルバイトや遊びをしっかりとっておけると言われたのにも惹かれました。

面接の際にはインターンシップ体験は大きな武器になりました。志望動機説明や質疑応答の時、バケット車での昇降、光ファイバ接続体験などの具体的な話ができたと、インターンシップの成果発表で通信建設業界に入りたいとアピールをしたことや、当時体重が105kgあってバケット車の積載制限から2人作業は難しく「痩せます宣言」をしたエピソードなども披露することができました。

【本井傳】 これからインターンシップを考えている学生に一言お願いします。



【吉田】 興味のある分野に機会を見つけて、できれば複数参加するのいいと思います。自分の将来を実際の環境下で意識できる良い機会です。仕事、人、雰囲気を肌で感じて不安の少ない仕事選びができます。中でも通信建設業界はIT系の幅広いモノ作りを通じての自己実現にうってつけです。多くの学生の皆さんに通信建設業界へのインターンシップ参加と就職にチャレンジされることをお勧めします。

【本井傳】 今日はお忙しい中インタビューに応じてくださってありがとうございました。

今後一人でも多くの学生が通信建設業界を希望されるようインターンシップの内容を工夫していきたいと思います。

6. おわりに

本年度も有意義な協会インターンシップとなりました。通信建設業界に関心がある学生を派遣していただいた学校の先生および関係職員の皆様、また、学生さんが理解しやすいように実務体験を指導していただいた会員会社の関係の皆様方に感謝する次第です。

今後も、協会インターンシップをさらに充実していく所存ですので、引き続き関係の皆様方のご理解・ご協力・ご支援をいただけますよう、宜しく申し上げます。